

35GR クイックリファレンス

操作説明（簡易版） ver. 1.02

ApexRadio, Inc.

株式会社 アペックスラジオ

この文書は、広帯域受信機「35GR」の操作に関わる説明を簡易的に表記したものです。

広帯域受信機「35GR」の操作や仕様、その他詳細に関わる内容について別資料を参照ください。

1. この文書内での語句と概説.....	3
2. キー操作について.....	4
3. [FUNC]キー について.....	4
4. [FUNC]キーを併用する2重割当機能.....	4
5. [FUNC]キー長押しを併用する3重割当機能.....	5
6. 動作モードの切替操作.....	5
7. LCD 上の短縮表示.....	6
8. [UP], [DOWN]キーの使用.....	7
9. 「⇔ FM ⇔ AM ⇔ USB ⇔ LSB ⇔ CW ⇔」表記.....	7
10-1. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (1/4).....	8
10-2. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (2/4).....	9
10-3. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (3/4).....	10
10-4. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (4/4).....	11

1. この文書内での語句と概説

動作モード	ダイヤル、メモリリード、メモリスキャン、セレクトスキャン、ダイヤルサーチ、プログラムサーチの各動作モードのこと。
復調モード	FM, AM, USB, LSB, CW, AUTO のこと AUTO モード: 復調モード AUTO 選択時は、設定された受信周波数によってあらかじめ記憶しているデータテーブルから復調モード、IFBW と周波数ステップその他を自動設定する。
IFBW	IF フィルタの通過帯域幅のこと。AUTO モードでは復調モード、周波数ステップと共に自動設定される。AUTO 以外では手動設定とする。2ndIF (10.7MHz), 3rdIF (455kHz) が対象です。
AGC	AGC の動作と時定数設定を指す。FAST、MID、SLOW、または OFF を設定できる。
ATT RF AMP	RF アンプとアッテネータ(減衰器)のこと。RF アンプはオンオフ、ATT は、0dB、10dB、20dB 30dB の挿入を手動設定できる。AUTO は電界強度に応じて自動で設定します <ul style="list-style-type: none"> • ATT: 1100MHz 未満で有効 • AMP: 30MHz 未満で有効。
メモライト	受信中の設定内容をメモリチャンネルに記憶させること。この時、受信周波数、復調モード、IFBW、AGC、RF AMP、ATT、メモリチャンネルテキスト を記憶する。
メモリリード	あらかじめ記憶させておいたバンクとチャンネルを選択して受信すること。 この時、バンク切替は数値キー (0~9) で行える。チャンネル切替は(ダイヤル)で行える。 メモリリードでは、PASS 設定、セレクト設定が行える。
メモリスキャン	あらかじめ記憶させておいたバンクとチャンネルをスキャンすること。スキャンはスケルチ開で停止、閉でディレイ時間経過後再開。この時、[UP]、[DOWN]キー又はダイヤルでスキャン強制再開とスキャン方向(昇降順)の変更ができる。バンク切替は数値キー (0~9) で行う。スキャン停止中に[PASS]キーで PASS 設定ができる。なお、PASS 設定されているメモリチャンネルはスキャン対象から除外される。
セレクトスキャン	メモリリード、メモリスキャン停止中にてセレクト設定されたメモリチャンネルのみをスキャンする。セレクト設定は最大 100 で超えた場合には古いものから順に消去される。
プログラムサーチ	各サーチバンクに設定された、上限下限周波数とステップ周波数、復調モードに基づいて順次サーチ受信する。サーチはスケルチ開で停止、閉でディレイ時間経過後再開。この時、[UP]、[DOWN]キー又はダイヤルでスキャン強制再開とスキャン方向(昇降順)の変更ができる。バンク切替は数値キー (00~19) で行える。サーチ停止中に [PASS]キーで、その周波数をパス周波数へ登録できる。パス周波数は最大 500 で越えた場合には古いものから順に消去される。サーチ中、パス周波数になった場合には受信動作せずに通過する。
バンクリンク	スキャン時のメモリバンク、サーチ時のサーチバンクを複数連ねてスキャン、またはサーチする機能のこと。
スケルチ	受信周波数に電波がない場合に復調出力をミュートする機能。この機能を活用して、メモリスキャン、サーチ等の停止と再開を行う。ノイズスケルチとレベルスケルチの2種類のスケルチがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • ノイズスケルチ: SQ ツマミによって設定する。 • レベルスケルチ: ダイヤルによって設定する。
プライオリティ受信	プライオリティ専用メモリチャンネルをインターバル時間毎に優先受信する機能。この機能は動作と停止を切替えられる。動作させていても、ただし、いずれかの受信モードにあるときに有効で、各メニュー設定中は動作を強制的に停止する。
システム環境設定メニュー	動作の基本設定をまとめた設定メニューの事。
AF	オーディオ段のフィルタ設定のこと
タイマー機能	内蔵時計を使ったオン、オフ、スリープタイマー。時計表示と時刻合わせ機能を持つ

2. キー操作について

[MODE] のように、カギ括弧で囲まれた表記は「キー操作」を表します。

[MODE] は、「MODE キーを押下、すぐにはなす」操作を表現します。

「押下して、すぐにはなす」操作を「キー操作」と表現します。

「長押し操作」は、「キーを押下し続けて長押し判定になってから、はなす」操作を表現しています。

長押し判定は、約 0.6 秒間、押し続けることで、長押しを検出します。

[MODE]	MODE キーをキー操作
[FUNC]+[MODE]	[FUNC]キー操作後に、[MODE]キーを操作
[FUNCL]	[FUNC]キーの長押し操作
[UPL]	[UP]キーの長押し操作
[DOWNL]	[DOWN]キーの長押し操作

3. [FUNC]キー について

本項では、[FUNC] キーについて説明しています。[FUNC]キーは、35GR のさまざまな機能を操作するために多用するキーのひとつです。下表内の「捺印」とは、各キーに割り当たられた機能の名称がキートップやパネルに印刷してあることを指しています。

[FUNC]	<ul style="list-style-type: none"> 他のキーに2重割当てしている機能を使う場合に操作するキー。 2重割当て機能は、該当キー上段の捺印(受信機パネルのキー表記)です。 2重割当て機能が有効なときは、LCD 上の FUNC が点灯します。
[FUNCL]	<ul style="list-style-type: none"> [FUNC]の長押し。(約 0.6 秒) 他のキーに3重割当てしている機能を使う場合に操作するキー。 3重割当て機能は、捺印がありません。 3重割当て機能が有効なときは、LCD 上の FUNC が点滅します。

4. [FUNC]キーを併用する2重割当機能

本項では、[FUNC] キーを併用する 2重割当機能 を列挙しています。

[FUNC]+[MODE]	IFBW 選択
[FUNC]+[STEP]	ステップアジャスト (ST-ADJ) ON/OFF 切替え
[FUNC]+[4]	シフト (SHIFT) ON/OFF 切替え
[FUNC]+[6]	プライオリティ (PRIORITY) ON/OFF 切替え
[FUNC]+[9]	受信周波数、時計表示 切替え
[FUNC]+[.]	レベルスケルチ (LSQ) ON/OFF 切替え
[FUNC]+[EXIT]	受信周波数、テキスト表示 切替え

※ 機能切替えについては、「10. メニューへの移行とメニュー内の操作」を参照してください

5. [FUNC]キー長押しを併用する3重割当機能

本項では、[FUNC] キー長押し ([FUNCL]+)を併用する 3重割当機能 を列挙しています。

[FUNCL]+[MODE]	復調モード AUTO の ON/OFF 切替え
[FUNCL]+[4]	SHIFT 設定メニューへ移行
[FUNCL]+[6]	PRIORITY 設定メニューへ移行
[FUNCL]+[9]	CLOCK 設定メニューへ移行
[FUNCL]+[+]	LSQ(レベルスケルチ)設定メニュー移行
[FUNCL]+[MEM]	メモリスキャン環境設定メニューへ移行
[FUNCL]+[SRCH]	プログラムサーチ環境設定メニューへ移行
[FUNCL]+[MEM]	ダイヤルサーチ環境設定メニューへ移行
[FUNCL]+[0]	<p>デリートメニューへ移行。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作モード：ダイヤル、ダイヤルイサーチの場合 DIAL-A, B, C, D, E, F 共用の、周波数パス設定解除。 動作モード：プログラムサーチの場合 プログラムサーチバンク単位の、データ設定消去、周波数パス設定解除。 動作モード：メモリーード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合 メモリバンク単位の、登録チャンネル、パス設定解除、セレクト設定解除。
[FUNCL]+[EXIT]	<p>テキスト設定メニューへ移行。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作モード：ダイヤル、ダイヤルイサーチの場合 読み出されている、DIAL-#のテキスト設定。 (ただし、DIAL-#はテキスト表示ができません) 動作モード：プログラムサーチの場合 読み出されている、プログラムサーチバンク#のテキスト設定。 動作モード：メモリーード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合 読み出されている、メモリチャンネルのテキスト設定。

※ メニューの内容については、「10. メニューへの移行とメニュー内の操作」を参照してください

6. 動作モードの切替操作

本項では、動作モードの切替操作を列挙しています。

[DIAL]	動作モード:ダイヤルモードのとき、DIAL 切替え ⇔DIAL-A⇔DIAL-B⇔DIAL-C⇔DIAL-D⇔DIAL-E⇔DIAL-F⇔
	動作モード:ダイヤルモード以外るとき、ダイヤルモードへ移行
[MEM]	動作モード:メモリーードのとき、メモリスキャンへ移行
	動作モード:メモリーードモード以外るとき、メモリーードモードへ移行
[FUNC]+[MEM]	メモリスキャンへ移行
[FUNC]+[7]	セレクトスキャンへ移行
[SRCH]	プログラムサーチへ移行
[UPL], [DOWNL]	動作モード:ダイヤルモードのとき、ダイヤルサーチへ移行
	動作モード:メモリーードのとき、メモリスキャンへ移行

7. LCD上の短縮表示

本項では、35GR の LCD に表示される内容 について示しています。

MODE	復調モード
BW, IFBW	2ndIF(10.7MHz), 3rdIF(455kHz)のフィルタ帯域幅
ST	ステップ周波数
ATT	高周波部の減衰器
AMP	高周波部の増幅器 (受信周波数が 30MHz 以上では常に ON)
AGC	2ndIF(10.7MHz), 3rdIF(455kHz)の自動利得調整
HPF	オーディオ段のハイパスフィルタ
LPF	オーディオ段のローパスフィルタ
DEMP	オーディオ段のディエンファシス
CW-P	CW 検波のビート周波数
LSQ	レベルスケルチ
LAMP	LCD バックライト
BEEP	操作音
EXT-IF	2ndIF(10.7MHz), 3rdIF(455kHz)の外部出力
BPS	シリアル通信速度
STD	PLL 回路の基準信号
S-M	S メータ
RSSI	ゲインコントロールされていない、電界強度
AGC	ゲインコントロールされた、電界強度
VI	音声反転器
TE	トーンエリミネータ(空線信号キャンセラ)
DSR	ダイヤルサーチ
PSR	プログラムサーチ
MEM	メモリ
DEL	デリート
DBK	デリートバンク
BKL	バンクリンク
DIS	バンクリンク対象外に設定
ENA	バンクリンク対象に設定
No * /No— CH * /CH— DATA * /DATA—	No: バンク番号, CH: 登録メモリチャンネル, DATA: プログラムサーチデータ *: 選択したバンクに登録メモリチャンネル, プログラムサーチデータ有り —: 選択したバンクに登録メモリチャンネル, プログラムサーチデータ無し
PASS * /PASS—	メモリチャンネルパス設定, 周波数パス設定 *: 選択したバンクにメモリチャンネルパス設定, 周波数パス設定有り —: 選択したバンクにメモリチャンネルパス設定, 周波数パス設定無し
SEL * /SEL—	メモリチャンネルセレクト設定 *: 選択したバンクにメモリチャンネルセレクト設定有り —: 選択したバンクにメモリチャンネルセレクト設定無し

8. [UP], [DOWN]キーの使用

本項では、[UP], [DOWN] に割当られた特別な使用方法を示しています。

① サブメニュー選択

操作しているメニューの中に、サブメニューがある場合には、その選択に[UP], [DOWN]キーを使います。

② メモリー書込 CH 番号増減

メモリー書込みメニューでチャンネル(CH)番号の選択中、[UP] で CH 番号10増、[DOWN]で CH 番号10減ができます。

9. 「⇔ FM ⇔ AM ⇔ USB ⇔ LSB ⇔ CW ⇔」表記

「⇔FM⇔AM⇔USB⇔LSB⇔CW⇔」との表記は、選択パラメータをリング状に選択できることを意味しています。

すなわち、上記例の場合は、

FM → AM → USB → LSB → CW → FM → AM

のように選択できるうえ、逆方向にも選択できることを意味しています。

10-1. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (1/4)

No	設定項目	メニュー 移行	サブメニュー選択	メニュー内操作		
			[UP][DOWN]	[ダイヤル]	[PASS]	[0~9][.]
1	復調モード (MODE)	[MODE]	MODE	⇔FM⇔AM⇔USB⇔LSB⇔CW⇔		
2	IF フィルタ幅 (IFBW)	[FUNC]+ [MODE]	BW	⇔2.4⇔5.5⇔7.0⇔15.0⇔30.0⇔ ⇔110.0⇔220.0⇔		
3	ステップ周波数 (STEP)	[STEP]	ST	⇔0.001⇔0.010⇔0.050⇔0.100⇔ ⇔0.500⇔1.000⇔5.000⇔6.250⇔ ⇔8.300⇔9.000⇔10.000⇔ ⇔12.500⇔20.000⇔25.000⇔ ⇔30.000⇔50.000⇔100.000⇔ ⇔500.000⇔		周波数直接設定
4	減衰器 (ATT)	[FUNC]+ [1]	ATT	⇔ AUTO⇔0dB⇔10dB⇔20dB⇔ ⇔30dB⇔		
			AMP		ON/OFF	
5	自動利得制御 (AGC)	[FUNC]+ [2]	AGC	⇔0FF⇔ FAST⇔MID⇔SLOW⇔		
6	オーディオ フィルタ (AF)	[FUNC]+ [3]	HPF	⇔0.05⇔0.2⇔0.3⇔0.4⇔		
			LPF	⇔3.0⇔4.0⇔6.0⇔15.0⇔		
			DEMP	⇔THRU⇔25⇔50⇔75⇔750⇔		
			CW-P	⇔0.4⇔0.5⇔0.6⇔0.7⇔0.8⇔ ⇔0.9⇔1.0⇔12.0⇔		
7	シフト (SHIFT)	[FUNCL]+ [4]	SHIFT	⇔+⇔-⇔		周波数直接設定
8	ディレイ時間 (DELAY)	[FUNC]+ [5]	DELAY	⇔OFF⇔0.1⇔0.2⇔0.3⇔0.4⇔... ...⇔9.5⇔9.6⇔9.7⇔9.8⇔9.9⇔ ステップ:0.1 秒 範囲:0.1~9.9 秒		
9	プライオリティ 設定 (PRIORITY)	[FUNCL]+ [6]	内容設定	受信周波数, 復調モード等、必要項目を動作モードダイヤルと同じように設定します。		
			INTERVAL	⇔1⇔2⇔3⇔...⇔58⇔59⇔60⇔ ステップ:1 秒 範囲:1~60 秒		
10	オプション設定 (OPTION)	[FUNC]+ [8]	AFC		ON/OFF	
			NB		ON/OFF	
			DTMF		ON/OFF	
			VI	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ステップ:1 範囲:0~255	ON/OFF	
			CTCSS ON	⇔67.0⇔69.4⇔71.9⇔74.4⇔... ...⇔241.8⇔250.3⇔254.1⇔	ON/SRCH/OFF	
			CTCSS SRCH			
			CTCSS OFF			
TE	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ステップ:1 範囲:0~255	ON/OFF				

[EXIT] :メニュー内での操作を取消し、直前の動作モードに戻ります。

[ENT] :メニュー内での操作を確定し、直前の動作モードに戻ります。

[UP][DOWN] :複数サブメニューがある場合、サブメニューを選択します。

10-2. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (2/4)

No	設定項目	メニュー 移行	サブメニュー選択	メニュー内操作		
			[UP][DOWN]	[ダイヤル]	[PASS]	[0~9][.]
11	CLOCK (時計関連)	[FUNCL]+ [9]	時計時刻	時分秒合せ		[4][6] 時分秒選択
			ON TIMER 時刻	時分秒合せ	ON/OFF	[4][6] 時分秒選択
			ALM	⇔RADIO⇔BEEP⇔		
			VOLUME	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ステップ:1 範囲:0~255		
			OFF TIMER 時刻	時分秒合せ	ON/OFF	[4][6] 時分秒選択
			SLEEP	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔119⇔120⇔ ステップ:1分 範囲:1~120分	ON/OFF	
12	レベルスケルチ (LSQ)	[FUNCL]+ [.]	LSQ	⇔-120.0⇔-119.5⇔...⇔-0.5⇔0.0 ⇔ ステップ:0.5 範囲:0~-120.0		
13	メモリ書込み (MW)	[FUNC]+ [ENT]		全チャンネル(000~999)を順次選択 ・特殊操作 [UP]:チャンネルを10増やす [DOWN]:チャンネルを10減らす		バンク選択
14	メモリスキャン 環境設定	[FUNCL]+ [MEM]	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ ステップ:1秒 範囲:1~60秒	ON/OFF	
			BKL	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔8⇔9⇔ ステップ:1 範囲:0~9	DIS/ENA	
			BKL		ON/OFF	
15	プログラムサーチ 環境設定	[FUNCL]+ [SRCH]	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ ステップ:1秒 範囲:1~60秒	ON/OFF	
			BKL	⇔00⇔01⇔02⇔...⇔18⇔19⇔ ステップ:1 範囲:00~19	DIS/ENA	
			BKL		ON/OFF	
16	ダイヤルサーチ 環境設定	[FUNCL]+ [DIAL]	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ ステップ:1秒 範囲:1~60秒	ON/OFF	
17	システム 環境設定 (CONFIG)	[FUNC]+ [DIAL]	LAMP		ON/OFF	
			BEEP	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ステップ:1 範囲:0~255	ON/OFF	
			EXT-IF	⇔OFF⇔1⇔2⇔3⇔		
			BPS	⇔9.6k⇔19.2k⇔38.4k⇔57.6k⇔ ⇔115.2k⇔		
			STD	⇔20MHz(INT)⇔10MHz(EXT)⇔		
			S-M	⇔RSSI⇔AGC⇔		
			DISP	⇔NORM⇔RSSI⇔		

[EXIT] :メニュー内での操作を取消し、直前の動作モードに戻ります。

[ENT] :メニュー内での操作を確定し、直前の動作モードに戻ります。

[UP][DOWN] :複数サブメニューがある場合、サブメニューを選択します。

10-3. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (3/4)

No	設定項目	メニュー 移行	サブメニュー選択	メニュー内操作		
			[UP][DOWN]	[ダイヤル]	[PASS]	[0~9][.]
18	プログラムサーチ データ設定 (SR PROG)	[FUNC]+ [SRCH]	バンク# 選択 bA	⇔00⇔01⇔2⇔...⇔18⇔19⇔ ステップ:1 範囲:00~19		
			下限周波数 LO			周波数直接設定
			上限周波数 HI			周波数直接設定
			ST	⇔0.001⇔0.010⇔0.050⇔0.100⇔ ⇔0.500⇔1.000⇔5.000⇔6.250⇔ ⇔8.300⇔9.000⇔10.000⇔ ⇔12.500⇔20.000⇔25.000⇔ ⇔30.000⇔50.000⇔100.000⇔ ⇔500.000⇔		周波数直接設定
			MODE	⇔FM⇔AM⇔USB⇔LSB⇔CW⇔		
			IFBW	⇔2.4⇔5.5⇔7.0⇔15.0⇔30.0⇔ ⇔110.0⇔220.0⇔		
19	TEXT 編集 (TAG)	[FUNCL]+ [EXIT]	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔7⇔8⇔9⇔ ⇔A⇔B⇔C⇔...⇔X⇔Y⇔Z⇔ ⇔`⇔*⇔+⇔-⇔,⇔⇔/⇔ ⇔ ⇔⇔⇔=⇔⇔_⇔		[4][6] 入力桁選択	

- [EXIT]** :メニュー内での操作を取消し、直前の動作モードに戻ります。
[ENT] :メニュー内での操作を確定し、直前の動作モードに戻ります。
[UP][DOWN] :複数サブメニューがある場合、サブメニューを選択します。

10-4. メニューへの移行及びメニュー内 操作 (4/4)

No	設定項目	メニュー 移行	サブメニュー選択	メニュー内操作		
			[UP][DOWN]	[ダイヤル]	[PASS]	[ENT]
20	指定チャンネル 消去 (DEL) ●メモリロード ●メモリスキャン 停止中 ●セレクトスキャン 停止中	[FUNC]+ [0]	指定チャンネル 消去 DEL		消去仮確定	消去確定
21	デリート ●メモリロード ●メモリスキャン ●セレクトスキャン	[FUNCL]+ [0]	バンク# 選択 DBK	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔8⇔9⇔ ステップ:1 範囲:0~9		
			登録チャンネル バンクー括消去 DBK		消去仮確定	消去確定
			パス設定 バンクー括解除 DBK		解除仮確定	解除確定
			セレクト設定 バンクー括解除 DBK		解除仮確定	解除確定
22	デリート プログラムサーチ	[FUNCL]+ [0]	バンク# 選択 DBK	⇔00⇔01⇔2⇔...⇔18⇔19⇔ ステップ:1 範囲:00~19		
			設定データ バンクー括消去 DBK		消去仮確定	消去確定
			パス設定 バンクー括解除 DBK		解除仮確定	解除確定
			パス設定 個別解除		解除仮確定	解除確定
23	デリート ●ダイヤル ●ダイヤルサーチ	[FUNCL]+ [0]	パス設定 バンクー括解除 DBK		解除仮確定	解除確定
			パス設定 個別解除		解除仮確定	解除確定

※ No.4 減衰器(ATT) 項に記述されている AMP は、受信周波数が30MHz 以下でのみ現れます。

※ 製品改良の為、仕様は予告なく変更されることがあります。

株式会社 アベックスラジオ

PPW120401